

「新しい東北」官民連携推進協議会

平成 30 年度 宮城県意見交換会（第 2 回） 議事要旨

平成 30 年 9 月 12 日

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

【日 時】平成 30 年 9 月 12 日（水）10:00～12:00

【場 所】復興庁宮城復興局

【出席者】

<会員>（所属の五十音順）

株式会社七十七銀行、国立大学法人東北大学、復興庁総合政策班、復興庁宮城復興局
宮城県、一般社団法人みやぎ連携復興センター

<オブザーバー>

独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部

<ファシリテーター>

エイチタス株式会社

<事務局>

NEC ソリューションイノベータ株式会社

【議事概要】

1. 各団体の取組紹介

各団体が用意した資料に基づいて、各団体の紹介を行った。

2. 意見交換

資料に基づいて、ファシリテーターより説明を行った。

「宮城県意見交換会で実施するイベント（Fw：東北 Weekly 特別編）の企画内容」について、以下の議論を行った。

○イベントのテーマについての議論

- ・ イベント開催候補地のひとつである石巻市で、広く活動を行っている NPO に対して、事務局がヒアリングを行ったところ、「若手人材と地元企業の連携」、「2020 年以降の資金調達を含む復興支援活動のあり方」、「小さな NPO がどう事業を継続して行くか」という点について、課題意識があるという意見があった。
- ・ SDGs の視点も含め、NPO が活動を継続できるよう、補助金や助成金だけではない資金調達の方

法や仕組みづくりが必要という議論もなされた。また、そのためには、企業との連携も必要で、企業の視点から地域課題や NPO との協働について考えるテーマがあってもよいのではという提案もあった。

- ・沿岸部で就労する外国人が増えていることに対して、「外国人労働者が観光など仕事以外で地域を回ることが少ない」、「休日の外国人労働者に対するサポートの仕組みがない」など、外国人が地域で暮らしていく上での課題があり、その解決に対して企業と NPO の協働を模索するイベントにしてはどうかという意見があった。
- ・地域の現状がイメージしやすいように、各地域が抱える課題や取り組んでいる活動について、マップを作成して、イベントで配布するのはどうかという意見もあった。

○具体的な方向性について

この意見交換会で生まれたアイデアをもとに、イベントのテーマ・プログラム内容を作成し、1月頃のイベント開催を目指すことが決まった。



当日風景

3. 次回開催について

- ・日時：2～3月を想定
- ・場所：復興庁宮城復興局を想定
- ・議題案：イベントの効果検証

次年度活動テーマの詳細について

以 上